

※教員からのコメントを抜粋して掲載しています。

学部

共通教育科目

◆科目名：生産獣医療学

教員名：木田 克弥

1. 授業担当回数：14回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

少人数で、楽しく授業することができました。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

概ね満足頂いていますので、特に、新たな工夫はありません。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

概ね満足頂いていますので、特に、新たな工夫はありません。

◆科目名：生産獣医療学

教員名：川島 千帆

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

もともと獣医5年生への授業でしたので難しいところもあったようですが、しっかり話を聞き、考え、発表し、レポートにも取り組んでもらえたと思います。今年度でこの授業は最後ですが、良い雰囲気です。授業が終わって感謝します。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価

アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

昨年度までは獣医5年生を対象としていたので（今年度は共同教育課程のため獣医はなし）、使う言葉により気をつけました。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

来年度はこの授業はありません。

◆科目名：全学農畜産実習

教員名：小池 正徳

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

良いコメントしかないので、「キャリア教育」や「土壌栽培学基礎」において、批判的かつ建設的な意見を集めた。

数件あったのが「Twitter だけで連絡をしないで！」ということだったが、担任、TA を通じて緊急の場合は班長に連絡が回っているはずであるが、来年は連絡網をしっかりとしたいと思う。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特にないが、TA と班長との LINE グループをつってもらい連絡を密にした。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

農業環境工学・農業経済学・環境生態学のユニットに関する1年生の実習がないとの意見が多かったので

次年度より

農業環境工学⇒ トラクター乗車実習

農業経済学 ⇒ 農業経済学演習

環境生態学 ⇒ 動物園実習

を追加する予定である。

◆科目名：全学農畜産実習（クラス1）

教員名：齊藤 準

1. 授業担当回数：14回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

学習を効果的に動機づける実習であるとの評価をいただきました。そのためのサポートを少しでもできたとすれば嬉しく思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

昨年度は担当していません。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

次年度担当する予定はありません。

◆科目名：全学農畜産実習（クラス3）

教員名：窪田 さと子

1. 授業担当回数：10回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

クラスの結束も大きかったので、私自身も非常に楽しく実習に参加することができた。進路選択等の参考になっていればと思う。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工

夫・改善した点等があればご記入ください）

昨年度の担当はないため該当なし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

農業経済学ユニットに係る実習がなかったため、来年度は取り入れてもらう予定になっている。

◆科目名：全学農畜産実習（クラス4）

教員名：山内 宏昭

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

授業評価については、概ね妥当な評価結果であり、学生の授業内容に対する満足度も概ね良好な結果である。全学農畜産実習の授業内容から、教官は専門外の指導も行うことになるが担当教員が互いに協力し、学生への指導を今後も充実していくことが重要であると考えている。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：農畜産科学概論 I（畜産学）

教員名：西田 武弘

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

マイクの雑音には注意します。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

昨年度は生命倫理のビデオ紹介だったが、今年度は講義を行った。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

ハンドアウトの準備、双方向授業。

◆科目名：農畜産科学概論 I（畜産学）

教員名：川島 千帆

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

様々な課題について、自分の考えを積極的に発言したり、レポートに書いてもらい、家畜について改めて考える時間を作れ、共有できたと感じます。学生の純粋な考えはこちらにも刺激になり、感謝しています。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

座席、課題、授業の進め方を事前にポータルサイトを通じて知らせたため、昨年よりスムーズに進行したと考えます。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

この授業も数年経ち、このコマをメインで仕切る教員を変更するため、スムーズに進むように引継ぎやサポートをしっかりとしていきたいです。また、専門用語を使う際は解説を入れるように意識したいです。

◆科目名：農畜産科学概論 I（畜産学）

教員名：瀬尾 哲也

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

導入の授業なので畜産現場に興味を持ってもらえるように、多くの映像を使って説明するようにします。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：農畜産科学概論 II（食品科学）

教員名：木下 幹朗

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

200名以上の講義でかつオムニバスなので双方向はなかなか難しい。クリッカー等の利用も今後検討する。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：農畜産科学概論 II（食品科学）

教員名：山内 宏昭

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

学生の授業評価に関する評価は、概ね良好であった。今後は更に学生が興味を持ち、学習意欲が高まる様な講義ができるよう継続的努力を行うつもりである。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：農畜産科学概論 III（農学）

教員名：三浦 秀穂

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

大講義室での授業で、後部座席の学生から一部聞き取り難いとの指摘を受けたので改善したい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

コメントなし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

大講義室での授業で、後部座席の学生から一部聞き取り難いとの指摘を受けたので改善したい。

◆科目名：農畜産科学概論 III（農学）

教員名：谷 昌幸

1. 授業担当回数：2回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

もう少し専門的な知識が欲しかったとの意見があったが、あくまでも農畜産科学概論として導入的な科目であるため、全ての学生が理解できることが重要であると考ええる。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：農畜産科学概論 III（農学）

教員名：秋本 正博

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

本講義は複数の教員が担当を行っている。アンケート結果からは自分が担当した回についての正確な評価をうかがい知ることにはできないが、学生からは内容、難易度、分かりやすさなどの点において軒並み高い評価を受けた。また、教員の熱意が伝わってきたなどの点についても約8割の学生から「そう思う」以上の評価を受けた。本講義は受講生にとっておおむね満足のいくものであったと考えている。学生からの自由記述によるコメントでは、「授業内での学生と教員のコミュニケーションがもっと多かったら良かった」というものがあったが、受講者が200名を超える講義のため、なかなか限られた授業時間内に個々の学生と対

話を持つのは難しい。しかし、学生からの意見として挙げたことから、今後の講義においてより学生－教員間のコミュニケーションが図れるよう内容の改善に取り組んでいく考えである。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：家畜家禽論

教員名：日高 智

1. 授業担当回数：5回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

授業への出席は良好であった。ただ、約60%が予習・復習に費やす時間が30分以下と短かった。授業時間内で十分理解できるように資料を配布し、説明しているが学習の時間をもう少し設ける必要がある。シラバスの到達目標は70%以上が達成できたとしており、学習時間が短いにもかかわらず、十分な理解が得られたものと考えられる。また、75%以上がさらに深く勉強したくなったと答えていることから、授業の難易度が適切で、興味深い内容であったと考えられる。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

豚編において、昨年度まで日高が担当したが今年度から村西先生にご担当いただ

いた。また、内容が一新された興味深い授業が実施できたと考えられる。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

授業内容について、授業終了時にクイズ(小テスト)を行うなどして、授業に対する理解を深めつことを実施しているが、さらに今後も実施して、工夫した授業を実施する。

◆科目名：家畜家禽論

教員名：村西 由紀

1. 授業担当回数：3回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

主に、1年生を対象にした畜産に関する導入授業のため、学生たちが「畜産学はおもしろい」と感じられるような講義内容にしています。そのため、今回のアンケート結果から、内容が適切でさらに深く知りたかったという高い評価をみて、講義を行う側からも学生の達成度は十分だと感じました。ただし、基本から応用発展が可能なように、自分自信でさらに深く調べその結果について自分の意見をまとめるというレポート形式は、決して易しい内容ではなく、大学生レベルの能動的な学習をするよい機会になったかと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

スライドで画像あるいは動画から視覚的な理解を促し、最新の論文の内容なども織り交ぜて授業を行いました。畜産の基本

はもちろん、海外の畜産事情や新規の研究内容を知ることで、向学心および探究心をかきたてるような授業を心がけました。また、数字のデータから自分でグラフを作成し、グラフからなにが読み取れるか？など、結果を予想しながら授業をうけることで興味をひきつけられたかと思います。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

学生からのレポートに記載されていた疑問点を参考に、次の授業ではわかりやすい解説を補足しながら授業を進めます。自分で読み取るデータ解析は好評だったので、今後も続けていきたいと思っています。

◆科目名：家畜家禽論

教員名：古村 圭子

1. 授業担当回数：4回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

1) 進行速度が速い、内容が書き写せない教科書を指定しているため、予習をすることを希望する。

2) 声が届かない

ワイヤレスマイクを使用して、声が届くようにしている。授業中聞こえない場合は、学生から申し出てほしい。

3) 各家畜の授業後にレポート課題を提出
レポートを作成することで、その家畜への理解が深まると考え、レポート課題をだしている。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

1) スライドの色

色が多すぎて、かえって判りにくいという意見があったため、1スライドで使用する色を減らした。

2) 内容の減量

授業中の説明を減らし、教科書を予習・復習するようにする。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

1) Moodle を利用した予習と復習

スライドの内容を減らし、Moodle から講義資料を学生自身が予習として、印刷して授業に持参して、そこへ授業中に記入するようにしたい。また復習を兼ねて、小テストや、ミニレポートを提出するようにしたい。

2) 小テストなどの結果を Moodle で返送し、フィードバックできるようにしたい。

◆科目名：農業と経済

教員名：仙北谷 康

1. 授業担当回数：2回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

ほぼ所期の目的は達成されていると考えられる。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

とくにない。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

学生からの反応を確認できるような取

り組み。

◆科目名：農業と経済

教員名：窪田 さと子

1. 授業担当回数：2回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

概ね理解が得られたようであるが、もう少し時事的話題を盛り込み興味を引き出す構成を検討したい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

論点を絞ってゆっくり（はっきり）授業するよう努めた。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

十分な双方向授業を行えていないため、FDの内容を踏まえながら大人数でも対応できるよう検討したい。

◆科目名：農業と経済

教員名：河野 洋一

1. 授業担当回数：2回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

次年度以降も、学生が積極的に参加できるような分かりやすい授業運営を目指す。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

昨年度、学生から好評だった授業内でのwebアンケートシステムの活用分量を

増やし、受講する学生がより授業に参加しやすいような授業の実施を心がけた。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）
特になし

◆科目名：農業と経済

教員名：金山 紀久

1. 授業担当回数：2回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

Q10の回答について、「どちらでもない」が23.7%、「そうは思わない」が4.44%であり、もう少し授業全体として満足度を高める工夫が必要であると考えられる。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

昨年度は授業を担当していなかった。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

授業中、いくつかの問題に回答してもらおう場を設けているが、学生の興味や内容の理解につながる設問内容となるように工夫したいと考えている。

◆科目名：農業と経済

教員名：志賀 永一

1. 授業担当回数：2回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

北海道農業のならびに日本の農業生産の実態について、再確認を含め知っていた

だくことに力点を置いています。動物好きな方が多いと思いますが、食生活を念頭に幅広い知識を吸収してください。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

データの更新などを行った。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

身近な事例などを取り上げ、より興味を持ってもらうように工夫したい。

◆科目名：家畜生産と獣医学

教員名：五十嵐 郁男

1. 授業担当回数：5回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

スライドの情報量、説明方法、時間、マイクの使用の要望の指摘に関して、改善があり、今後改善を図る必要がある。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

学生から指摘のあったライドの情報量、説明方法、時間、マイクの使用の要望に関し、分担教員を情報を共有し、次年度の改善を依頼する。

◆科目名：家畜生産と獣医学

教員名：川本 恵子

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

より理解しやすい講義や配布資料の工夫をしたいと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

疾病の背景を理解できるよう基礎的な話から始めた

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

オムニバスの講義なので各担当者の話す内容についての事前情報があると講義内容の重複を避けることができるなど参考になります

◆科目名：遺伝学

教員名：萩谷 功一

1. 授業担当回数：7回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

コメントなし

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

講義のスライドを Moodle に置き、どこからでも閲覧できるようにしました。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：遺伝学

教員名：加藤 清明

1. 授業担当回数：8回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

【「教科書が高価」と言うコメントについて】学生の学習履歴によって、講義の理解度に差異が生じやすい科目かと思われま。そのために、独学できる、あるいは1人で予習できる様に丁寧に説明している教科書を指定しています。高価な教科書ですが、畜大のコアな科目の一つであることを理解していただきたい。

【講義が少し難しい、スピードが速い】教科書等を活用して予習を十分にしよう心がけていただきたい。

【遺伝子組み換えの講義時間の充実を要望するコメント】次年度から少し配慮します。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

レクチャーカードによる毎回の講義についての評価コメントに基づき、次回以降の講義の改良等に活用した

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

小テストの実施回数が担当回数の1/2程度だったが、次年度は毎回実施し、復習による学習効果を高めたい。

レクチャーカードの実施に対する説明が不十分と考えた学生がいたので、説明について回数、タイミング等を工夫をする。

遺伝子組換えのついての時間を増やす。

◆科目名：生物化学

教員名：木下 幹朗

1. 授業担当回数：13回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

高校レベル（センター試験レベル）の有機化学は自習しておいてください。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）
4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：有機化学（獣医）

教員名：折笠 善丈

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

アンケートの各項目の評価について、授業の改善すべきポイントが客観的に数値化されたことで改善への手助けになると捉えております。また、自由記述欄にとっても参考になる意見が書かれていましたので、今後の授業の構成や進行に大きく役に立つと考えております。具体的な改善点としては、講義で使用するスライドの切り替えが早い、または遅いといった指摘がありましたので、この点について受講生の様子をよく観察し、記入し終わったことを確認してから次のスライドに切り替えることを今後心掛けると共に、説明が間延びしないよう気を付けることを考えております。授業の評価を勘案し、授業内容の理解を高めるよ

うに、資料、説明方法等を調整することを考えています。また、授業の進行速度についても受講生からの意見を反映するよう努めます。以下、アンケートの教員に対する設問への個々のコメント回答です。

授業内容の難易度に対する設問では55%が適切との回答いただいたが、やさしい（極めてやさしいを含む）が15%、難しい（極めて難しいを含む）が30%となっており、受講生の理解度に合わせた細かい対応が求められていると感じました。基本理論を丁寧に説明しつつ比較的難易度の高い問題を解く機会を増やすといった改善策を検討したいと考えています。

教員の説明に対する設問では、2.5%がわかりにくいを選択していたので、説明の要点をより明確に伝える等の改善策を検討したいと考えています。

教員の熱意に対する設問では、10%の学生が熱意が伝わらないを選択していたので、講義において強調すべきところはしっかりと伝えるなどの努力を続けていくことを考えています。

教員の話し方は聞き取りやすさに対する設問では、2.5%が聞き取りにくいと回答していましたので、声量や声の抑揚を改善するよう考えております。

教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促したかとの設問では、12.5%がそうは思わないと回答しており、章末問題だけでは不足していることと捉えております。改善策は現在考案中です。

教員は学生の質問・発言等に適切に対応したかとの設問では、5%が対応に不満があるとの回答でありました。本講義は、講

義終了後およびオフィスアワーに質問を受け付けておりますが、質問者が多いと個別回答に手間取るケースがありました。今後は回答資料を用意するなどの改善をしていきたいと考えています。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：有機化学（畜産）

教員名：折笠 善丈

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

アンケートの各項目の評価について、授業の改善すべきポイントが客観的に数値化されたことで改善への手助けになると捉えております。また、自由記述欄にとっても参考になる意見が書かれていましたので、今後の授業の構成や進行に大きく役に立つと考えております。具体的な改善点としては、講義で使用するスライドの切り替えが早い、または遅いといった指摘がありましたので、この点について受講生の様子をよく観察し、記入し終わったことを確認してから次のスライドに切り替えることを今後心掛けると共に、説明が間延びしないよう気を付けることを考えております。授業の評価を勘案し、授業内容の理解を高めるように、資料、説明方法等を調整することを考えています。また、授業の進行速度についても受講生からの意見を反映するよう努

めます。以下、アンケートの教員に対する設問への個々のコメント回答です。

授業内容の難易度に対する設問では74%が適切との回答いただいたが、やさしい（極めてやさしいを含む）が12.5%、難しい（極めて難しいを含む）が13%となっており、受講生の理解度に合わせた細かい対応が求められていると感じました。基本理論を丁寧に説明しつつ比較的難易度の高い問題を解く機会を増やすといった改善策を検討したいと考えています。

教員の説明に対する設問では、7.9%がわかりにくいを選択していたので、説明の要点をより明確に伝える等の改善策を検討したいと考えています。

教員の熱意に対する設問では3.3%が、熱意が伝わらないを選択していたので、講義において強調すべきところはしっかりと伝えるなどの努力を続けていくことを考えています。

教員の話し方は聞き取りやすさに対する設問では、4.6%が聞き取りにくいと回答していましたので、声量や声の抑揚を改善するよう考えております。

教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促したかとの設問では、8.6%がそうは思わないと回答しており、章末問題だけでは不足していることと捉えております。改善策は現在考案中です。

教員は学生の質問・発言等に適切に対応したかとの設問では、2%が対応に不満があるとの回答でありました。本講義は、講義終了後およびオフィスアワーに質問を受け付けておりますが、質問者が多いと個別回答に手間取るケースがありました。今後は回答資料を用意するなどの改善をしてい

きたいと考えています。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：分析化学

教員名：木下 幹朗

1. 授業担当回数：5回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

高校化学（センター試験レベル）の内容は自習しておいてください。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：基礎物理学

教員名：斉藤 準

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

試験等に対するフィードバックを迅速にすべきという意見をいただきました。また、今後の学習に対する動機づけとなるような内容にすべきという評価、グループワーク等の授業方法に対する改善への指摘等をいただきました。次年度に向け、改善を目指したいと思っております。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

内容の抜本的な変更，グループワーク方法や予習内容の改善を行いました。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

Q2 の各内容につき改善を図りたいと思います。

◆科目名：生物と福祉

教員名：瀬尾 哲也

1. 授業担当回数：2回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

授業中寝る人が少なくなるように興味のありそうな情報をお話できるように努めます。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：生物と福祉

教員名：渡邊 芳之

1. 授業担当回数：3回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

学生からの評価は概ね肯定的で，授業効果も上がっていると考えられる。予習復習の時間が少ないことについては改善の余

地がある。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：生物と福祉

教員名：岡崎 まゆみ

1. 授業担当回数：4回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

授業で使用した講義資料については、引き続き来年度もポータルサイトで公開するようにします。

課題量の少なさのご指摘について、(私の担当回の場合は) 熱心・丁寧に取り組んだものには時間と労力がかけられていることがよく伝わってきていますので、分量としては決して少なくないと考えています。他の分担教員とも相談して多少調整を図るかもしれませんが、基本的には来年度も本年度同様の課題（レポート）を提示予定です。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

Q2 に同じ。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

Q2 に同じ。

◆科目名：農畜産関係法

教員名：岡崎 まゆみ

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

とっつきにくい「法律」という分野を身近なものとして考えてもらうにはどうしたら良いかがこの講義の課題のひとつと考えています。来年度も説明には具体例を多く交えながら、また履修者のみなさんが講義を聞く一方になるのではなく、「あなた・私だったらどう思うか？」と主体的に考える時間をもう少し増やして、講義への参加意欲を高められるよう努力します。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

コメントなし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

コメントなし。

◆科目名：環境経済学

教員名：楠田 尚史

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

板書が読みづらいとの指摘があったので、できるだけ丁寧な板書を心がけたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

別の新しい教科書に変更して、より今

日的で身近な問題を積極的に取り上げ、学生の興味と学習意欲を高める工夫をした。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

学生の授業へのかかわりを高めるため、授業中の質問や小テストをより頻繁に行って授業内容の理解を確かめながら、できるだけわかりやすい授業内容になるように努めたい。

◆科目名：共通教育総合Ⅰ（家畜と環境問題）

教員名：西田 武弘

1. 授業担当回数：9回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

発表準備の時間は、1コマ割いたので、充分だと思ったのですが。追加のレポートによる救済措置は、考えておきます。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

特になし

◆科目名：家畜育種学Ⅰ

教員名：口田 圭吾

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

発言を促したかという質問に対して、

強くそう思う、そう思うの回答がそれぞれ13.64%、62.12%と高い割合であったが、ほぼ一度も発言をさせる機会が無かったのに対して、この回答はいかかなものかと思われました。学生は適当に答えているような気がします。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

利用しているパワーポイントの資料について、文字の大きさを大きくしました。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

もう少しわかりやすい資料などを提示しようと考えています。

◆科目名：食品栄養学

教員名：福島 道広

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

授業の中、学生への質問によって発言を促しているが、消極的であり、また今まで履修してきたはずの質問に対しても回答がないため、予習・復習をもっと行ってもらいたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

基本的にはスライドを使って授業を行っているが、配布資料や黒板を使うときは、見やすく改善した

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向

けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

基本的にはスライドを使って授業を行っているが、配布資料や黒板を使うときは、さらに見やすく工夫したい。

◆科目名：農業資源経済学

教員名：窪田 さと子

1. 授業担当回数：7回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

理解や興味に関して評価がわかれてしまったので、全員が十分な理解・興味を得られるよう構成を再検討したい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

Moodleでの予習・復習やグループワークなど、アクティブラーニングの要素を多くした。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

学生の理解度をリアルタイムで確認できるよう検討したい。

◆科目名：農業資源経済学

教員名：金山 紀久

1. 授業担当回数：7回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

Q10の回答で、「どちらでもない」25.64%、「そうは思わない」12.82%と、学生の満足度が高くはない。その理由として、教員の熱意を感じられない学生が少なから

ずいることや、授業の難易度が学生によって異なる、授業に興味を持たせ、積極的に参加を促す工夫が足りないなどの問題点が考えられる。テキストの取り扱いを含め、授業の改善を行っていききたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

昨年度は授業を担当していない。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

Moodle を使用して予習・復習を促し、予習の確認テストを行っているが、もう少し予習を踏まえた授業となるように工夫を考えたい。また、テキストの内容以外にも、学生が興味を持つことできるような素材を取り入れ、学生が授業に積極的に参加できるような工夫を考えたい。授業の1回を課題を設定してグループディスカッションを行ったが、回数を含め再度検討していききたい。

◆科目名：農業経営学

教員名：志賀 永一

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

各種評価に「どちらでもない」との回答もみられます。受講者の関心のある事例を対象にしたいのですが、日本の農業では水田作を対象にした施策が中心です。畜産、畑作だけではなく、全般的に知識を広げ、相対的に事例などを考える力を身につけていきましょう。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

2015年農業センサスの公表が行われたので、可能な限り最新のデータに更新しながら授業を行った。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

TPPが頓挫ともいえる状況にあるので、国際化対応の動向などを取り入れて講義を行いたい。

◆科目名：フードシステム学

教員名：仙北谷 康

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

初年度であり、やや実験的な内容も含む講義であったが、学生の評価を受けて修正を加える。具体的には、講義の順番の入れ替え、トピックスの見直し、授業ツールの見直し、などである。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

今年度が初めての講義である。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

講義の順番の入れ替え、トピックスの見直し、授業ツールの見直し、など

◆科目名：農地農村整備学

教員名：辻 修

1. 授業担当回数：15回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック
コメントなし
3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）
スライドの文字数を減らした。
4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）
最新技術の紹介

◆科目名：環境保全型農畜産実習

教員名：春日 純

1. 授業担当回数：12回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック
本実習に対する学生の評価はおおむね良好だったと思う。
複数名の学生が単位数の妥当性について、「そうは思わない」もしくは「まったくそうは思わない」を選択した。この理由は正確には分からないが、畑を管理するという内容上、講義時間外に除草などを行う必要があり、作業時間に対して単位数が足りないと感じたのかもしれない。ただ、文科省が想定する単位取得に必要な学習時間を考えると、講義外の作業時間は付与される単位に対して多いとは思わない。
講義時間外の作業などでの作業量の不平等性に不満を感じたり、自主性の評価を希望するコメントが見られた。本実習は、共同作業の役割分担も含め学生主導で畑の

管理を求めている、作業量の問題は学生間での解決を望む。時間外作業での取り組みを評価することの難しさもある。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

時間外作業量の問題など作業グループ内で問題になりそうなことについて、初回のガイダンスにおいて、学生同士で解決する必要があるそれも含めての実習であるということを明確に伝える。

◆科目名：環境保全型農畜産実習

教員名：宮竹 史仁

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

授業回数が1回のため、特に学生さんからのコメントはありませんでしたが、次年度も環境保全型農業と畜産の関係を理解してもらうために、実際の現場（SFC）において実践的な講義を行います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

授業回数が1回のため、特に学生さんからのアンケートでのコメントはありませんでしたが、環境保全型農業と畜産について、実際の現場（SFC）で実物を見ながら分かりやすい講義をしています。また、学

生さんには、環境保全型農業に不可欠な農業資材である「堆肥」の切り返しを行い、廃棄物から資源へと変換される状況を体験してもらっています。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

次年度も環境保全型農業と畜産について、新しい知見を含めながら実際の現場（SFC）での分かりやすい講義を行います。

◆科目名：環境保全型農畜産実習

教員名：谷 昌幸

1. 授業担当回数：10回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

受講生を3班に分けて、それぞれの班で自主的に運営するように働きかけて実習を行っている。講義時間外の活動を評価してほしいとの意見があったが、班全体として作業が順調に進んでいるかについては評価に組み込んでいます。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：草地学

教員名：秋本 正博

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

学生による授業評価の結果では、内容、

難易度、分かりやすさなどの点において軒並み高い評価を受けた。また、教員の熱意が伝わってきたなどの点についても約8割の学生から「そう思う」以上の評価を受けた。本講義は受講生にとっておおむね満足のいくものであったと考えている。一方、学生からの自由記述によるコメントでは、板書の文字が見えにくいとの指摘があった。これは今後の課題として改善していきたい。また、休講が多かったとの意見があったが、これは開講期間中に私の母が闘病・死去する事態があり、帰省をやむなくされたためである。次年度からは本年度のような休講はないと考えている。現在私は本講義が開講されるのと同時刻に他の講義（農畜産科学概論III）を重複して担当している。学生のコメントに、「他の講義の担当のためにこの講義を休講にするのはおかしい」というものがあった。この件については開講前に学務課に相談しているが、改善は図られなかった。次年度から担当時間の重複が生じないよう時間割編成においてしていただきたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：植物育種学

教員名：加藤 清明

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

【スライドの量が多くて、印刷が大変】
学生が印刷ページを指定できるよう、ファイルを改良します。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

レクチャーカードでの学生からのコメントを次回以降の講義から活かすように心がけた

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

レクチャーカードでの学生への回答をより充実させる

スライド資料の重要度をページ毎に記すことを試行する

◆科目名：植物病理学

教員名：小池 正徳

1. 授業担当回数：13回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

難しいところをどのようにわかりやすくするかはこれからの課題である。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

今年はレクチャーカードを利用して、毎回の講義のクイズ、理解した点、わかりずらかったところなどを記入してもらったので、一方通行の講義にはならなかったと思う。来年もレクチャーカードを利用して講義をしたい。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向

けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

アクティブラーニングをできるだけ導入したい。

◆科目名：土壌環境科学

教員名：谷 昌幸

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

毎回の講義終了時に、講義に対するコメントや質問事項を紙に書いて提出させ、とくに質問に対しては次の講義で再度説明を行った。また、次の講義と関連する予習課題を配布し、自宅での学習を促した。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

講義終了時に、次の講義に関連する予習課題を配布し、自宅での学習を促した。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

授業評価のコメントにもあったが、はじめに予習課題に取り組む姿勢が見られたため、継続して行っていく。

◆科目名：獣医公衆衛生学

教員名：廣井 豊子

1. 授業担当回数：7回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

(1) この科目は基礎学術科目ではなく応用科目で、この科目には、獣医師の職域の広さ、責務や権限を解説する内容が含ま

れているが、決して獣医学課程の学生に対してのみに語りかけているのではない。獣医学課程の学生には「自分たちのこと」として、畜産学課程の学生には「獣医師」という職種の説明」として受け止めていただくことを期待しているし、その説明はしている。(2) 外部講師の時間延長に関しては注意をしていたが、それでも延長したケースがあった。改善を試みる。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

外部講師の際は、講義時間が予定を過ぎてしまうことがあった。前もって時間の厳守をお願いをしたり、終了時間が近づいたら講師に声をかけるようにした。(学生からのコメントにあるように、それでも時間超過したケースが出てしまった。)

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

外部講師の際の時間超過を改善したい。時間がわかるように教卓に小さな時計を置くようにする。また、あらかじめ講義時間の最後 5-10 分は質問時間として確保し、必ずその時間に終えるように進行を調整したい。

◆科目名：国際農業開発協力論

教員名：窪田 さと子

1. 授業担当回数：2 回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

論点を絞って全員の理解を促すことができるように改善したい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

クリッカーを導入して課題を明確にするように努めた。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

論点を絞って全員の理解を促すことができるように改善したい。

◆科目名：国際農業開発協力論

教員名：谷 昌幸

1. 授業担当回数：1 回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

聞きづらかったとの意見があったので、聞き取りやすい講義を行いたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：国際協力ディベート論

教員名：マーシャル スミス

1. 授業担当回数：15 回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

I ask for and listen to student comments, and incorporate comments that will improve the class.

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価

アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

By trying to keep the students better informed on their progress.

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

Remember student names and personal information better for improved communication.

◆科目名：国際協力ディベート論

教員名：岸本 正

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

日本語でのディベートを中心に行う。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

特になし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

日本語でのディベートを中心に行う。

◆科目名：国際協力ディベート論

教員名：小疇 浩

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

ディベートになるように、講義内容の見直しを行っています。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

受講学生が積極的に発表できる機会を提供しようと工夫しています。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

語学の習得は、主に英語科目に任せ、途上国事情を理解する内容に変更中です。